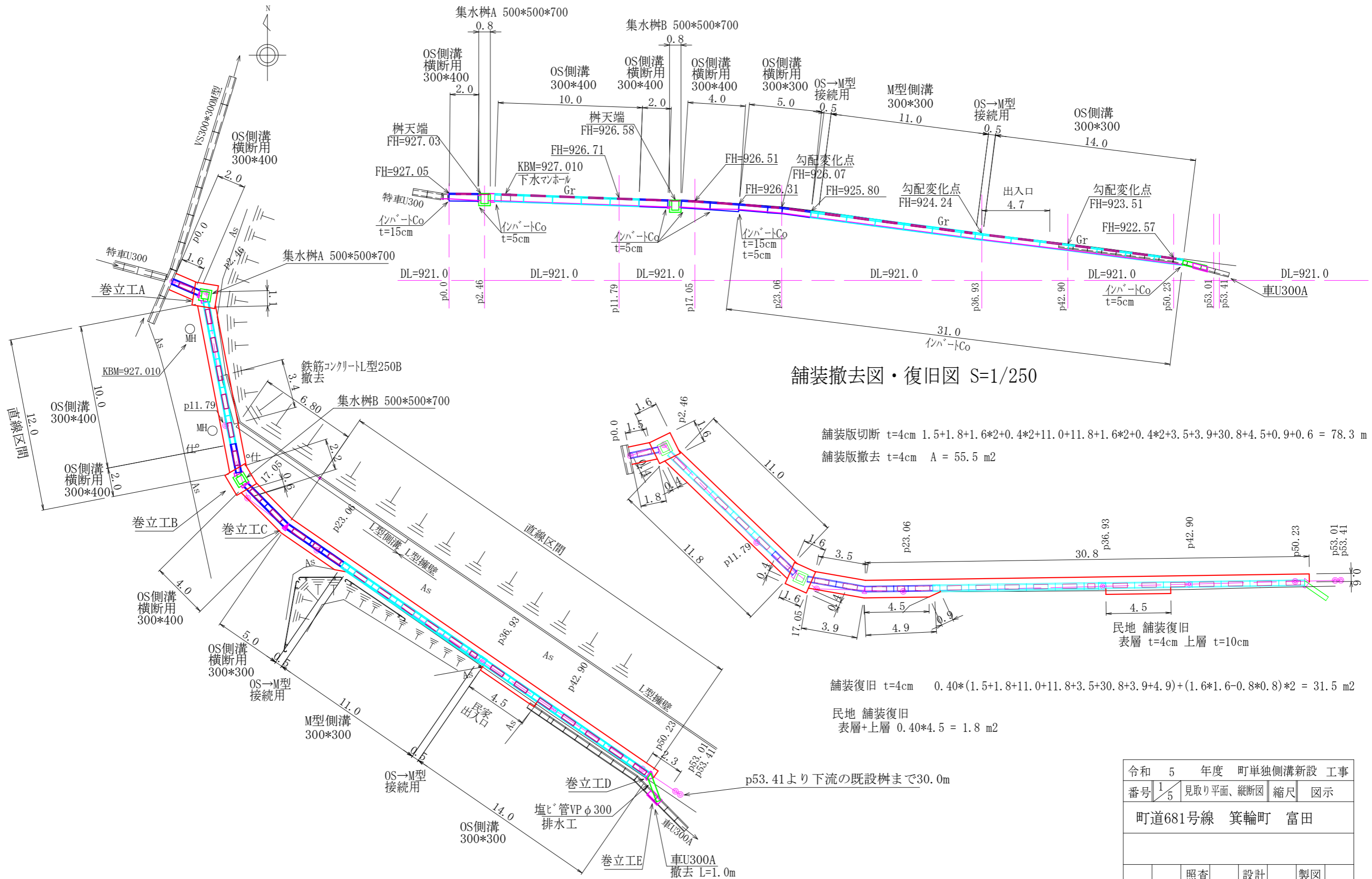


見取り平面図 S=1/250

縦断図 S=1/250



舗装撤去図・復旧図 S=1/250

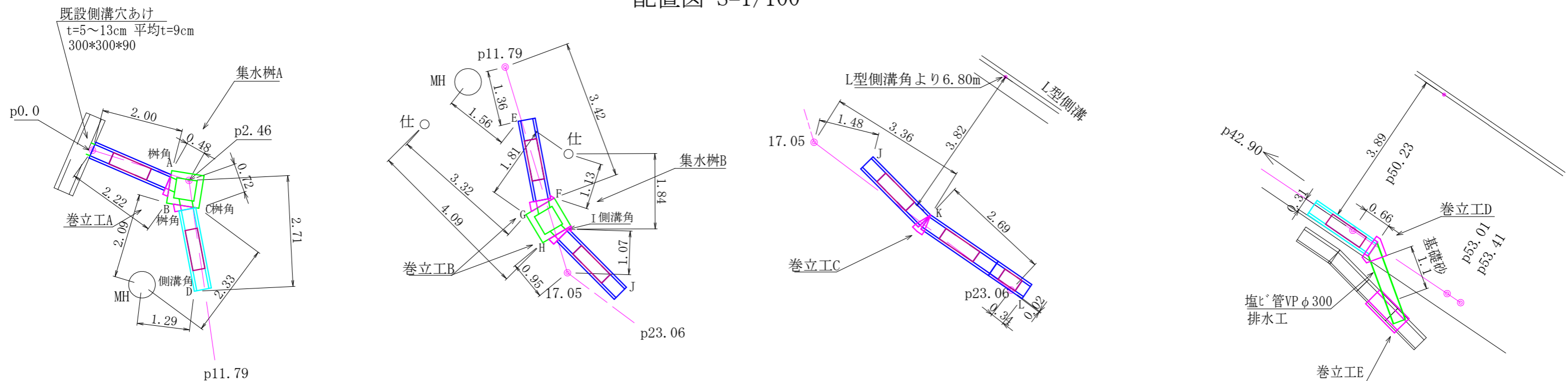
舗装版切断 $t=4\text{cm}$ $1.5+1.8+1.6*2+0.4*2+11.0+11.8+1.6*2+0.4*2+3.5+3.9+30.8+4.5+0.9+0.6 = 78.3 \text{ m}$
 舗装版撤去 $t=4\text{cm}$ $A = 55.5 \text{ m}^2$

舗装復旧 $t=4\text{cm}$ $0.40*(1.5+1.8+11.0+11.8+3.5+30.8+3.9+4.9)+(1.6*1.6-0.8*0.8)*2 = 31.5 \text{ m}^2$
 民地 舗装復旧
 表層 $t=4\text{cm}$ 上層 $t=10\text{cm}$
 民地 舗装復旧
 表層+上層 $0.40*4.5 = 1.8 \text{ m}^2$

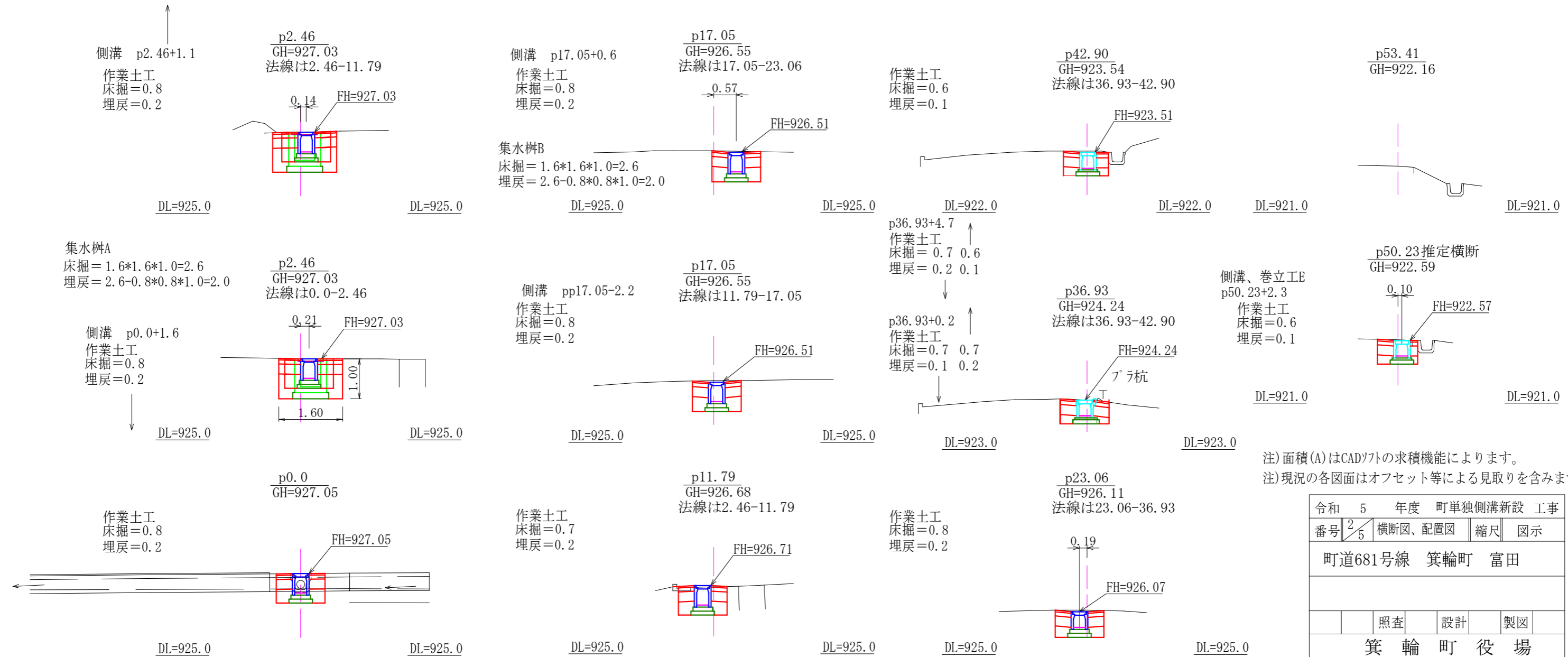
令和	5	年度	町単独側溝新設	工事
番号	1/5	見取り平面、縦断図	縮尺	図示
町道681号線 箕輪町 富田				
照査	設計	製図		
箕輪町役場				

注) 面積(A)はCADソフトの求積機能によります。
 注) 現況の各図面はオフセット等による見取りを含みます。

配置図 S=1/100

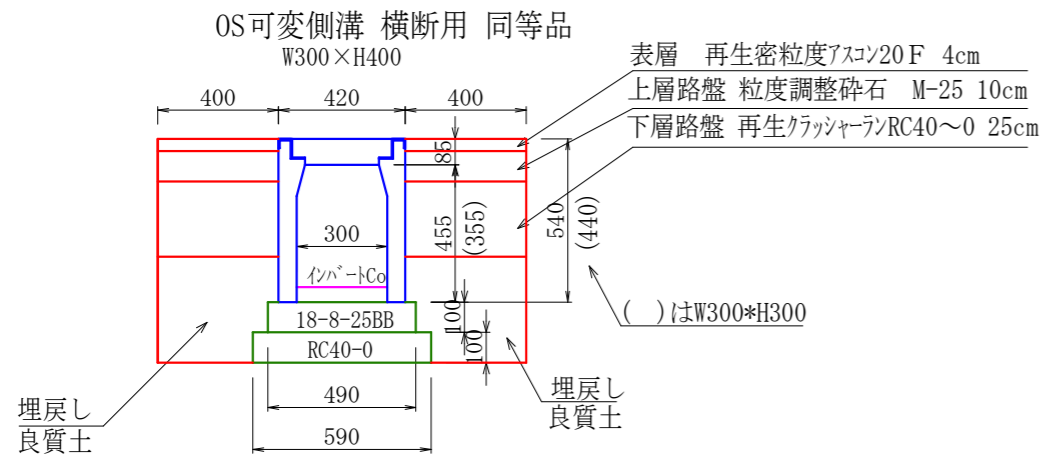


横断図 S=1/100



注) 面積(A)はCADソフトの求積機能によります。
 注) 現況の各図面はオフセット等による見取りを含みます。

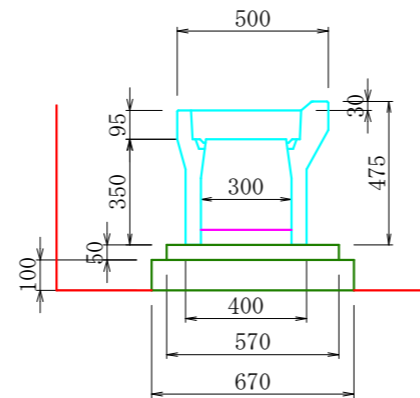
令和	5	年度	町単独側溝新設	工事
番号	2/5	横断図、配置図	縮尺	図示
町道681号線 箕輪町 富田				
照査	設計	製図		
箕輪町役場				



10m当り数量

製品 横断用OS側溝 同等品 W300*H400 L=2000 参考質量395(338)kg/本 = 5 本
 インバートコンクリート 18-8-25BB 一般部 0.05*0.30*10.0 = 0.15 m³
 基礎コンクリート 18-8-25BB t=10cm 0.10*0.49*10.0= 0.49m³
 基礎コンクリート型枠 0.10*2*10.0= 2.00m²
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm 0.10*0.59*10.0= 0.59m³
 グレーチング 蓋 ホルト固定T-25 W300用対応品 L=995 =5 枚
 基面整正 0.59*10.0= 5.9m²

M型可変側溝 縦断用 同等品



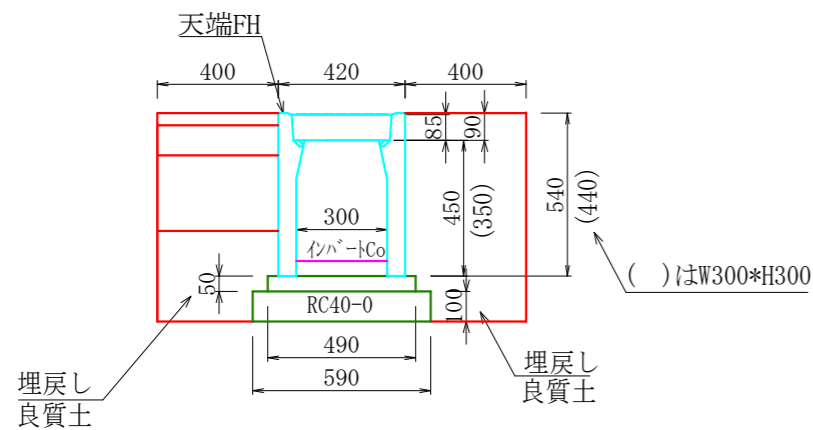
10m当り数量 製品 2m/本

製品 オーイケM型可変側溝 同等品 W300*H300 L=2000 参考質量354kg/本 = 5 本
 インバートコンクリート 18-8-25BB 一般部 0.05*0.30*10.0 = 0.15 m³
 基礎コンクリート 18-8-25BB t=5cm 0.05*0.57*10.0= 0.29m³
 基礎コンクリート型枠 0.05*2*10.0= 1.00m²
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm 0.10*0.67*10.0= 0.67m³
 グレーチング 蓋 M型-W300用対応品 L=995 参考質量26.4kg/枚 =1枚
 コンクリート 蓋 M型-W300用対応品 L=500 参考質量38kg/枚 =8枚
 基面整正 0.67*10.0= 6.7m²

10m当り数量 製品 1m/本

製品 オーイケM型可変側溝 同等品 W300*H300 L=1000 参考質量177kg/本 = 10 本
 インバートコンクリート 18-8-25BB 一般部 0.05*0.30*10.0 = 0.15 m³
 基礎コンクリート 18-8-25BB t=5cm 0.05*0.57*10.0= 0.29m³
 基礎コンクリート型枠 0.05*2*10.0= 1.00m²
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm 0.10*0.67*10.0= 0.67m³
 コンクリート 蓋 M型-W300用対応品 L=500 参考質量38kg/枚 = 10 枚
 基面整正 0.67*10.0= 6.7m²

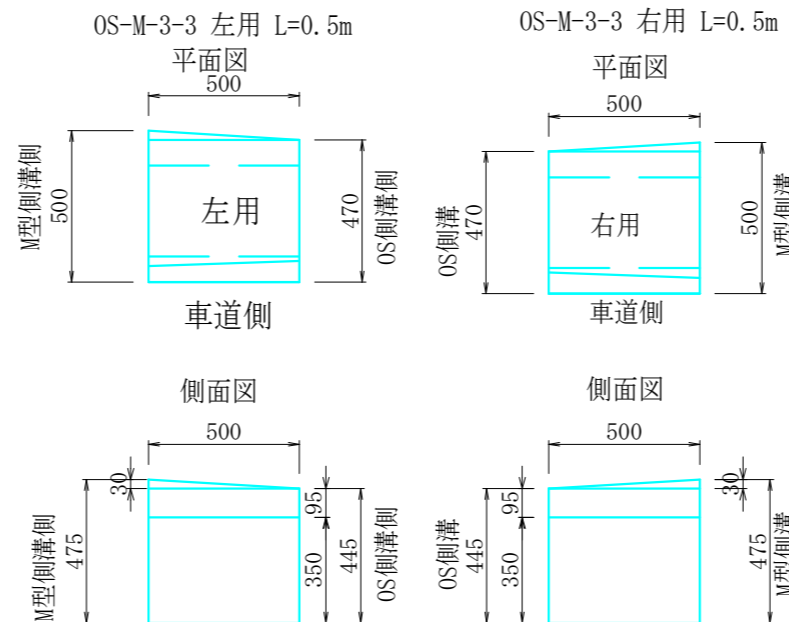
OS可変側溝 縦断用 同等品 W300×H400



10m当り数量

製品 縦断用OS側溝 同等品 W300*H400 L=2000 参考質量368(312)kg/本 = 5 本
 インバートコンクリート 18-8-25BB 一般部 0.05*0.30*10.0 = 0.15 m³
 基礎コンクリート 18-8-25BB t=5cm 0.05*0.49*10.0= 0.25m³
 基礎コンクリート型枠 0.05*2*10.0= 1.00m²
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm 0.10*0.59*10.0= 0.59m³
 グレーチング 蓋 W300用対応品 L=995 参考質量23.4kg/枚 =1枚
 コンクリート 蓋 W300用対応品 L=500 参考質量32kg/枚 =8枚
 基面整正 0.59*10.0= 5.9m²

OS-M型 (接続用側溝)



10m当り数量

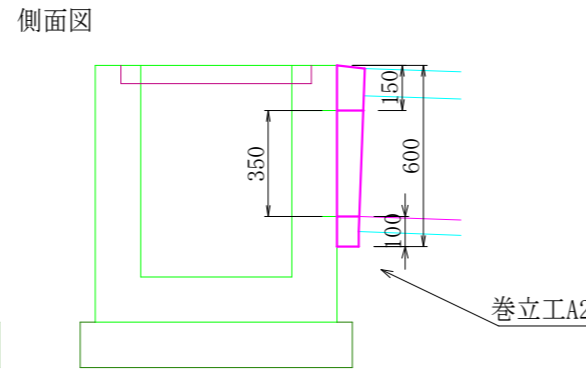
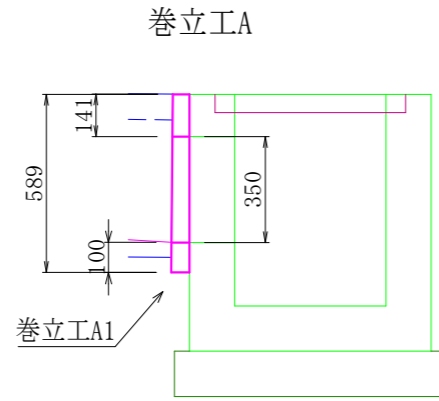
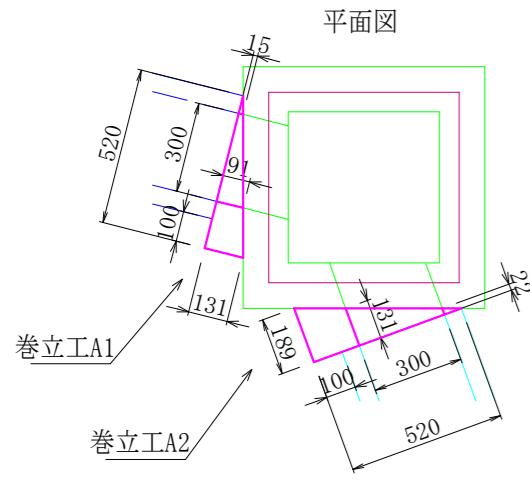
製品 OS-M-3-3 L=500 右用 参考質量126kg/本 = 20 本
 インバートコンクリート 18-8-25BB 一般部 0.05*0.30*10.0 = 0.15 m³
 基礎コンクリート 18-8-25BB t=5cm 製品カタログより 0.05*0.53*10.0= 0.27m³
 基礎コンクリート型枠 0.05*2*10.0= 1.00m²
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm 製品カタログより 0.10*0.63*10.0= 0.63m³
 基面整正 0.63*10.0= 6.3m²

注)基礎コンクリート及び碎石の幅はOS側溝とM型側溝の平均とします。

注)面積(A)はCADソフトの求積機能によります。

注)現況の各図面はオフセット等による見取りを含みます。

令和 5 年度	町単独側溝新設 工事
番号 3/5	構造図1 縮尺 図示
町道681号線 箕輪町 富田	
照査	設計
製図	
箕輪町 役場	



巻立工A1 1箇所当り数量

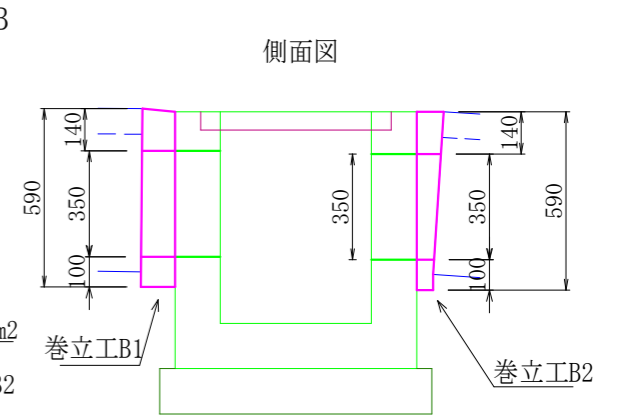
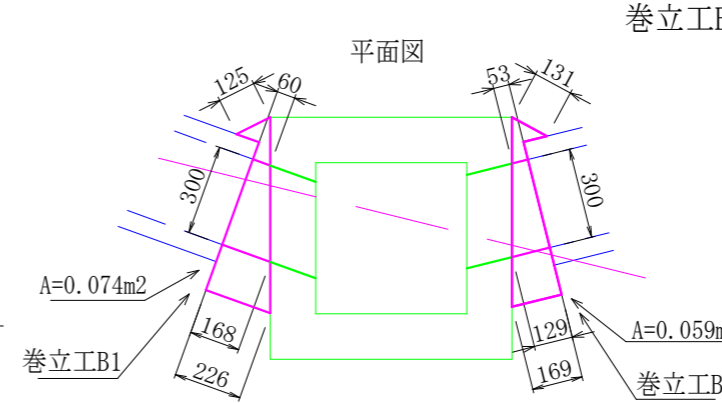
コンクリート18-8-25BB $0.131 \times 0.52 \times 1/2 \times 0.589 - (0.091 + 0.015) \times 1/2 \times 0.30 \times 0.35 = 0.014 \text{ m}^3$
 型枠 $0.131 \times 0.589 + (0.091 + 0.015) \times 0.35 = 0.11 \text{ m}^2$
 支保工 $(0.091 + 0.015) \times 1/2 \times 0.30 = 0.02 \text{ m}^2$

巻立工A2 1箇所当り数量

コンクリート18-8-25BB $0.189 \times 0.52 \times 1/2 \times 0.60 - (0.131 + 0.022) \times 1/2 \times 0.30 \times 0.35 = 0.021 \text{ m}^3$
 型枠 $0.189 \times 0.60 + (0.131 + 0.022) \times 0.35 = 0.17 \text{ m}^2$
 支保工 $(0.131 + 0.022) \times 1/2 \times 0.30 = 0.02 \text{ m}^2$

合計数量

コンクリート18-8-25BB $0.014 + 0.021 = 0.035 \text{ m}^3$
 型枠 $0.11 + 0.17 = 0.28 \text{ m}^2$
 支保工 $0.02 + 0.02 = 0.04 \text{ m}^2$



巻立工B1 1箇所当り数量

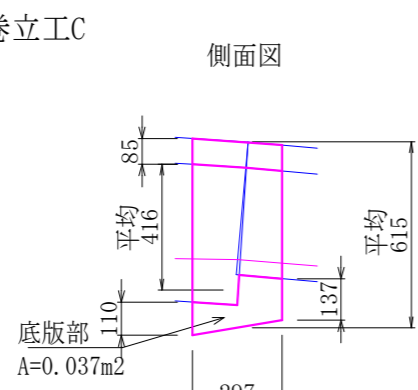
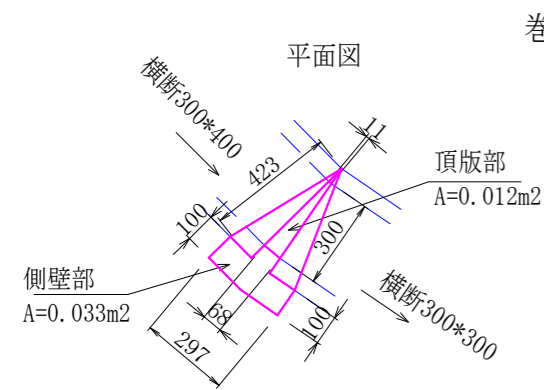
コンクリート18-8-25BB $0.074 \times 0.59 - (0.168 + 0.06) \times 1/2 \times 0.30 \times 0.35 = 0.032 \text{ m}^3$
 型枠 $(0.226 + 0.125) \times 0.59 + (0.168 + 0.06) \times 0.35 = 0.29 \text{ m}^2$
 支保工 $(0.168 + 0.06) \times 1/2 \times 0.30 = 0.03 \text{ m}^2$

巻立工B2 1箇所当り数量

コンクリート18-8-25BB $0.059 \times 0.59 - (0.129 + 0.053) \times 1/2 \times 0.30 \times 0.35 = 0.025 \text{ m}^3$
 型枠 $(0.169 + 0.131) \times 0.59 + (0.129 + 0.053) \times 0.35 = 0.24 \text{ m}^2$
 支保工 $(0.129 + 0.053) \times 1/2 \times 0.30 = 0.03 \text{ m}^2$

合計数量

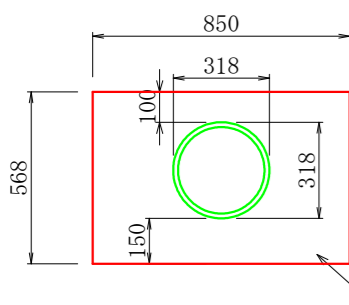
コンクリート18-8-25BB $0.032 + 0.025 = 0.057 \text{ m}^3$
 型枠 $0.29 + 0.24 = 0.53 \text{ m}^2$
 支保工 $0.03 + 0.03 = 0.06 \text{ m}^2$



巻立工C 1箇所当り数量

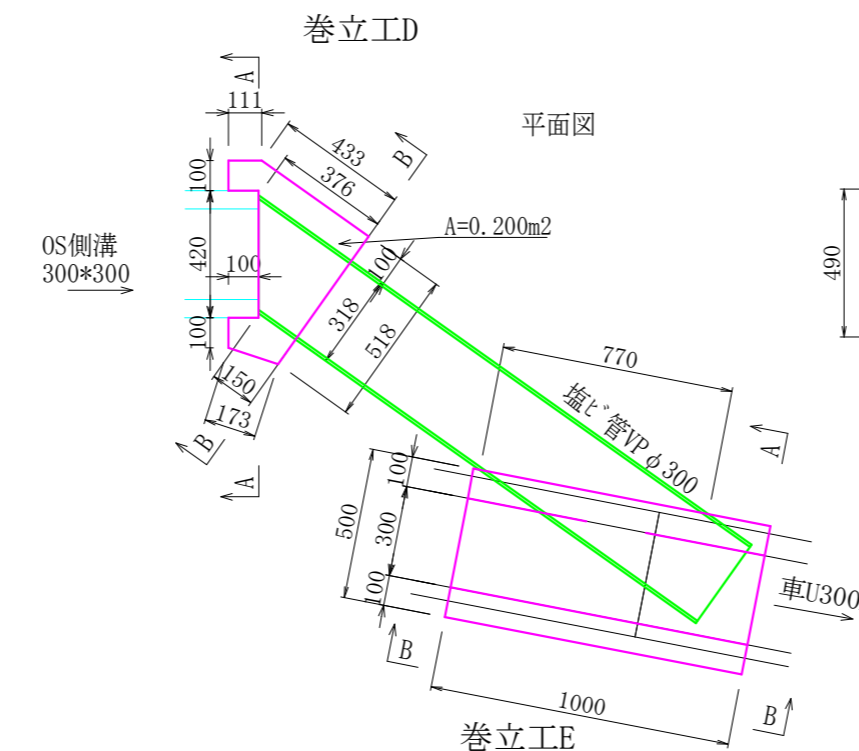
コンクリート18-8-25BB $0.033 \times 0.615 + 0.012 \times 0.085 + 0.037 \times 0.423 \times 1/2 = 0.029 \text{ m}^3$
 型枠 $0.297 \times 0.615 + (0.068 + 0.011) \times 0.416 + (0.110 + 0.137) \times 0.423 = 0.32 \text{ m}^2$
 支保工 $(0.068 + 0.011) \times 0.30 = 0.02 \text{ m}^2$

塩ビ管VP φ300 排水工



塩ビ管VP φ300 1箇所当り数量

塩ビ管VP φ300 L=4000を切断 =2.00 m
 基礎砂 $(0.85 \times 0.568 - 3.142/4 \times 0.318^2) \times 1.1 = 0.44 \text{ m}^3$

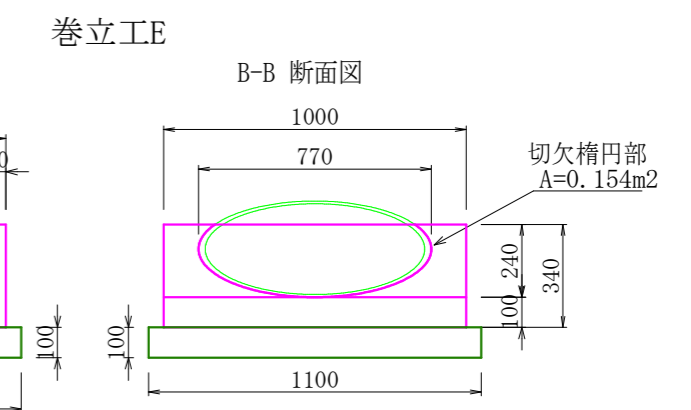
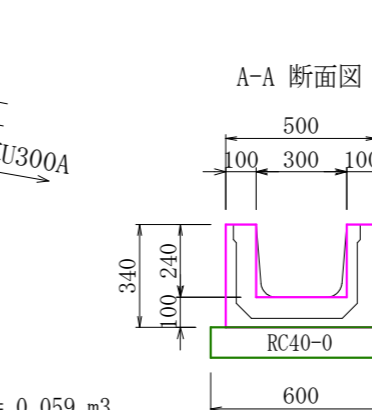
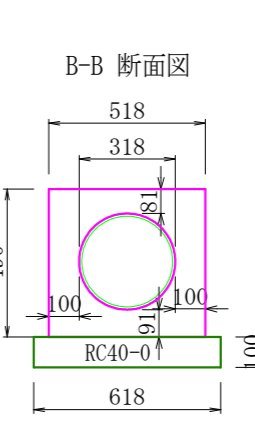
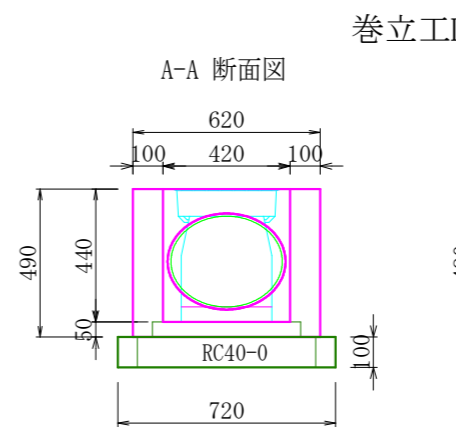


巻立工D 1箇所当り数量

コンクリート18-8-25BB $0.200 \times 0.49 - 0.42 \times 0.44 \times 0.10 - (0.376 + 0.15) \times 1/2 \times 3.142/4 \times 0.318^2 = 0.059 \text{ m}^3$
 型枠 $(0.10 \times 2 + 0.111 + 0.433 + 0.173) \times 0.49 + 0.518 \times 0.49 - 3.142/4 \times 0.318^2 = 0.62 \text{ m}^2$
 支保工 $0.42 \times 0.111 = 0.05 \text{ m}^2$
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm $0.200 \times 0.10 = 0.02 \text{ m}^3$

巻立工E 1箇所当り数量

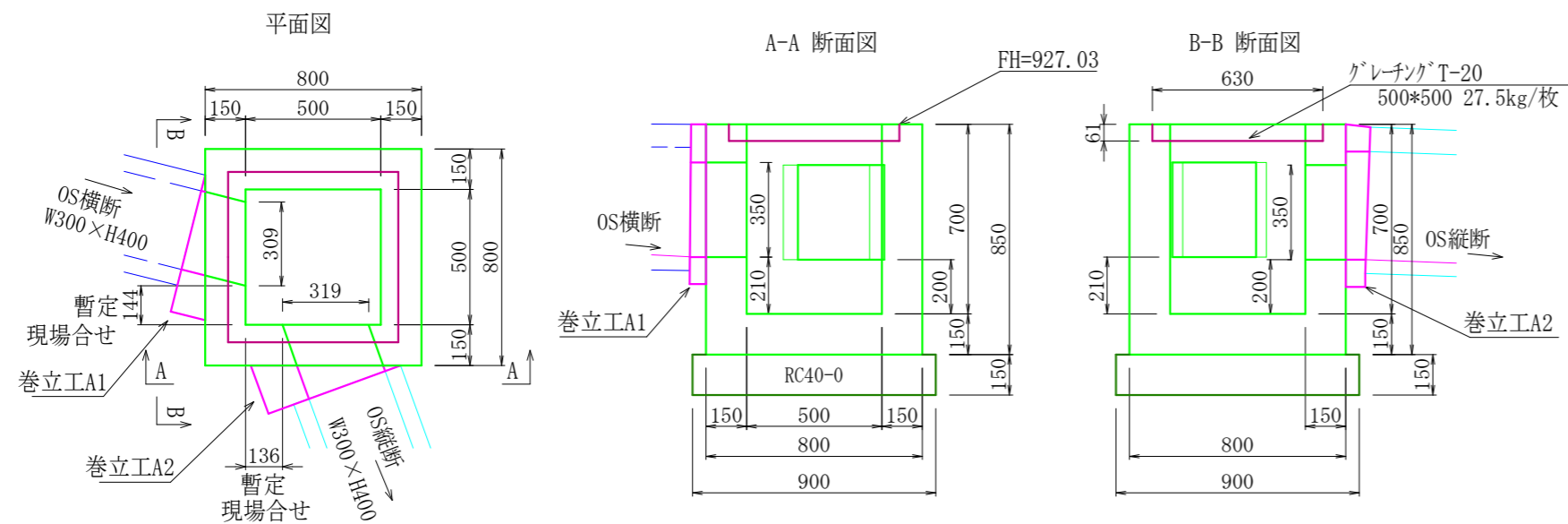
コンクリート18-8-25BB $(0.50 \times 0.34 - 0.30 \times 0.24) \times 1.00 - 0.154 \times 0.10 = 0.083 \text{ m}^3$
 型枠 $(0.50 \times 0.34 - 0.30 \times 0.24) \times 2 + (0.34 \times 2 + 0.24 \times 2) \times 1.00 - 0.154 \times 2 = 1.05 \text{ m}^2$
 基礎碎石 RC40-0 t=10cm $0.60 \times 1.10 \times 0.10 = 0.07 \text{ m}^3$



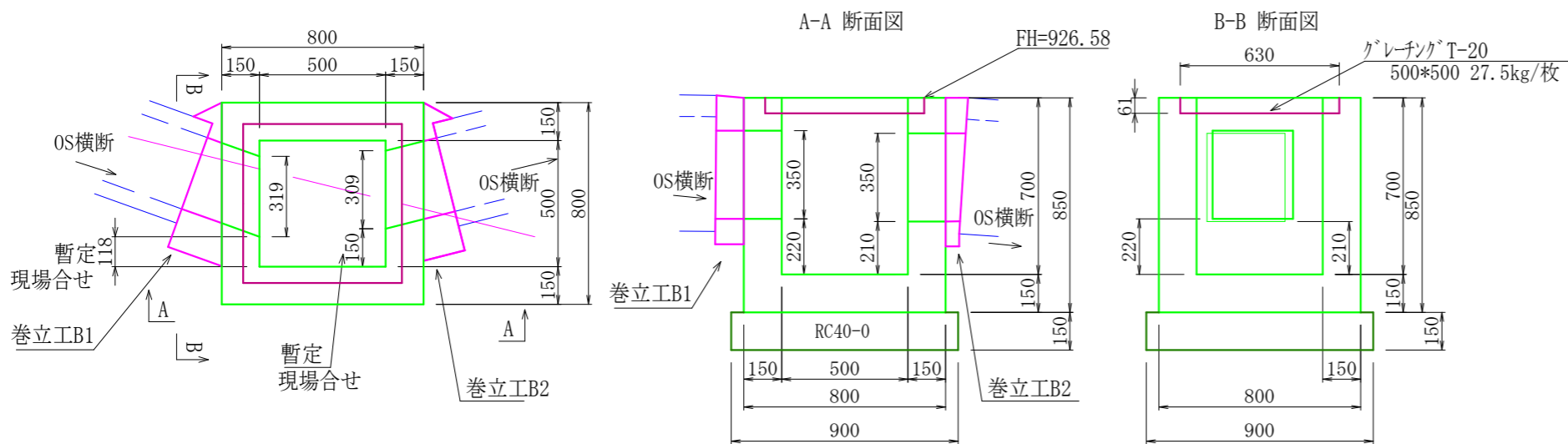
注)面積(A)はCADソフトの求積機能によります。
 注)現況の各図面はオフセット等による見取りを含みます。

令和 5 年度 町単独側溝新設 工事	番号 4/5	構造図3	縮尺	図示
町道681号線 箕輪町 富田				
照査	設計	製図	箕輪町役場	

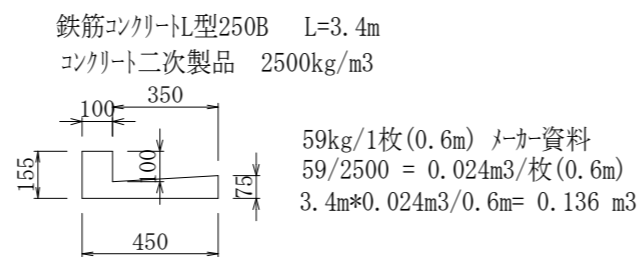
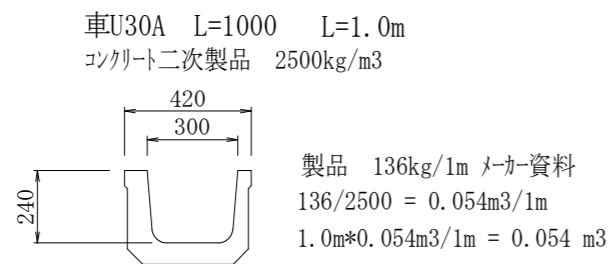
集水桝A 500*500*700



集水桝B 500*500*700



撤去図 S=1/25



注) 面積(A)はCADソフトの求積機能によります。
 注) 現況の各図面はオフセット等による見取りを含みます。

令和 5 年度	町単独側溝新設 工事
番号 5/5	構造図2 縮尺 図示
町道681号線 箕輪町 富田	
照査	設計 製図
箕輪町 役場	